

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	15198
課題名	甲状腺癌における予後評価
研究期間	西暦 2016年3月9日～2018年2月29日
研究の対象	1997年4月～2016年2月に当院で放射性ヨード治療を受けられた方
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：臨床所見，各種画像検査，採血結果，唾液量測定結果，病歴，治療歴，カルテ番号 等） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究の意義、目的	甲状腺がん術後の放射性ヨード(RI)治療は広く行われていますが、RI治療を続けるべきかどうか、他の治療法を検討すべきかの判断が難しい場合があります。治療に伴う副作用の発現も心配される治療であるため、適切なRI治療を行うことは非常に大切なことと考えます。本研究ではカルテ記録を収集し、各種画像・臨床検査データ解析を行い、副作用の発現状況を含めた治療経過を再評価し、有効な治療指針の確立を目指すことを目的とします。
研究の方法	当院で甲状腺がん術後の放射性ヨード治療を行った方の各種画像検査(CT, FDG-PET/CT, 核医学画像), 採血結果や唾液量の変化等を診療情報からさかのぼって再評価し、どの要因が治療効果や予後に影響を与えているのかを統計学的に検討させていただきます。また、放射線ヨード治療に伴う副作用の発生状況にも着目し、有効な指標を見出し、治療や予防法へと還元したいと考えております。
その他	特になし。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属：旭川医科大学 放射線医学講座 氏名：中山 理寛 電話番号：0166-68-2572</p> <p>研究責任者：旭川医科大学 放射線医学講座 中山 理寛</p>

